

校長だより



願い実現

令和7年5月16日

No.2

附属特別支援学校

小松 賢吾

【学校教育目標】

「自らの力をじゅうぶん発揮し、主体的に取り組む生活を今と将来にわたって実現する児童生徒の育成」

【みんなの合言葉】「『自分から 自分で せいっぱい』 願い実現 楽しい附特」

5月も半ばを超え、校庭わきのハナミズキや中庭のツツジが見事に咲き誇り、木々の緑がより鮮やかになってきました。日中はだいぶ気温も上がり、外での活動後には顔を赤らめたり、汗だくになったりしている子どもたちの様子もあり、夏に向かう季節の移ろいを感じる頃となっています。感染性胃腸炎などが流行っている学校などもあります。季節の変わり目は体調も崩しやすいので気を付けたいところです。学校でも手洗いや換気を行ったり、汗をかいた後には着替えをしたりするなど配慮してまいりたいと思います。

安全な学校であるために（お願い）

本校をはじめ、長野地区附属3校では、警備員を配置したり、子どもたちがいる時間に校門など全ての出入り口を閉じたり（附属前駅側の入り口は施錠）して、子どもたちの安全確保に努めてきました。しかし、先日、東京都立川市の小学校で起きた侵入・暴行事件を受け、より一層子どもたちの安全を守るために校内外での不審者を想定した安全対策を次のように確認・見直しました。

①部外者が侵入しにくくするために

・昇降口の外側の扉は、常時閉めておく（施錠なし）。

②校内で不審者を見分けるために

・外来者には、必ず事務室受付を経て、外来者名札（赤色ひも）を着用していただく。

・学生ボランティアや実習生、教職大学院生などにも名札を着用していただく。子どもたちと直接かかわる場面で、名札の着用が難しい場合にはガムテープの名札を付けていただく。

・保護者の皆様にも、校内に入る場合は保護者名札（黄色ひも：裏面参照）を着用していただく。

・名札のない部外者には、積極的に事務職員や教員が声掛けをし、早期対応を行う。

※ お迎えに来ていただく際の事業所の方などにも、名札等で所属や身分を明示していただき、安全に、確実に引き渡しを行うようにいたします。

③校外での安全確保のために

・子どもたちの掌握を確実に行うとともに、立ち位置を工夫することで子どもたちを常に視界に入れるなど、適切な状況把握を行う。

・不審者の接近も想定した先回りの安全配慮や、部外者から子どもたちへの声掛けがあったときには職員の介入などを行う。

・緊急時に敏速に動ける体制を事前に確認し、携帯電話を使った教員間の情報共有や即時連絡を行えるようにしておく。

特に②については、PTA会長様とも相談させていただき、長野小や長野中とも対応を揃えさせていただきます。文科省からも、名札の着用による不審者判別の対策が例示されています。

保護者名札の配付と着用にあたって

- ・ご家庭に保護者名札を2枚ずつ配付しますので、参観日や懇談会などで校内に入られる時には着用をお願いします。
- ・校外の催しなどにおいても、部外者と見分けるために着用をお願いすることがあります。
- ・個人情報に配慮して、カードに個人名は入れません。写真のような表記になりますので、学級が変わるときには中身のカードを再配布いたします。
- ・持参するのを忘れた場合は、お名前を申し出てください、事務室の予備名札をご利用ください。
- ・小さな年齢のごきょうだいについては着用不要ですが、高校生になる年齢以上の場合や、祖父母などが来校される場合は事務室の予備名札をご利用ください。



お手を煩わせることになってしまいますが、趣旨を酌んでいただき、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

警察からのご指導

本校では、子どもたちの安全を守るため、年度当初に避難訓練、不審者対応訓練、捜索訓練の3つを行っています。本年度の不審者対応訓練では、4月に長野中央警察署からスクールサポーターさんをお呼びして実際の訓練の様子を見ていただき、緊急時の対応について以下の点についてご指導いただきました。これらも念頭に、子どもたちの安全な学校づくりを行ってまいります。

○通報の仕方

- ・警察が電話を受けてからかけつけるまでに、どんなに早くても5分から10分はかかるので、おかしいと感じたら、とにかく早く警察を呼ぶこと。そして、すぐに校内放送で呼びかけること。それが不審者ではなかった場合には、分かった時点で通報したことが間違いだったと警察や周りに伝えればよい。
- ・警察に電話をすると、見かけた不審者の情報(人数、性別、背丈、服装、所持品、言動など)を必ず聞かれるので、できるだけ情報収集をする。通報後は、状況を共有したり警察からの指示を受けたりするために、電話を切らずにつないだままにしておくことよい。

○対応の仕方

- ・不審者に対しては、できるだけ一人で対応せず、事務職員や養護教諭等も含めた複数職員で協力して対応していくことが望ましい。不審者とは、できるだけ距離をとって対応する。
- ・「さすまた」を持った職員は、不審者が動き出した瞬間に対応できる位置取りとして、直接対話をしている職員の横か斜め後ろにいることよい。

本校の不審者対応につきまして、不明な点や確認したい点、ご意見やご提言などございましたら、担任または校長・教頭までご連絡ください。お知恵を拝借できたら幸いです。今後も、ご家庭と学校で協力しながら子どもたちを守っていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。